

また、新郎・新婦ともにキリスト教を信仰するものの、新郎が新婦とは違う宗派を信仰し、その信仰に深い関わりがある場合は、全キリスト教会\*によるエキュメニカルセレモニー／Ecumenical Ceremonyが適切です。新婦側の聖職者が許可すれば、新郎側の宗派の聖職者もその職務の側面的な手伝い、またはセレモニーの催行ができます。カップルのどちらかに聖職者である親戚や友達がいる場合も同様です。全キリスト教会のウェディングでは2つの家族を結びつける象徴として、2つの家族揃っての聖書朗読や、祈祷、またはユニティーキャンドル等の特別な儀式が喜ばれています。

**\*全キリスト教会**

諸教派間・キリスト教会すべての総称。キリスト教の超教派による結束を目指す主義のもと、キリスト教の教会一致促進運動（エキュメニカル運動）を行う。この運動は世界教会主義ともいう。この全キリスト教会で行われるエキュメニカルセレモニーは各宗派の特徴を省いた中立的なものとなっている。

**日本でも様々な宗教観や民族観の習得が必要となる！？**

日本でも 2019 年に外国人就労者の拡大を狙った制度が施行されたことで、今後ますます外国人居住者が増えると予想されます。つまり、国際結婚や外国人同士の挙式の増加も見込まれ、その結果、これまで関わったことのない宗教観や民族観を背景にした挙式のお世話する機会も増えるでしょう。ABC 協会日本オフィスへも特定の宗教や国の結婚に関する慣習に対する問い合わせが寄せられ始めています。今後は日本のブライダルプランナーにも様々な宗教観・民族観に則った挙式の慣習等を習得することが求められ、また、そこに新たなビジネスチャンスも見出すことができることでしょう。

**8. プロテスタントのセレモニー／Protestant Ceremony**

プロテスタントのセレモニーに関しては、多くの場合、1つのグループに統括されます。典型的なプロテスタントによるセレモニーの式次第は以下の通りです。

- 前奏曲
- 入場
- 礼拝（\*）
- 訓令（\*）
- 心づもりの発表（新郎・新婦によるセレモニーに対する心づもり）
- 聖書朗読
- 説教
- 誓いの言葉
- 指輪交換
- 結婚宣言
- 神への祈り
- 夫婦としての紹介
- 退場
- 後奏曲



この他にも賛美歌、独唱、特別な読み物、ユニティーキャンドル、聖書朗読、キスの儀式等があります。  
（\*）の印が付いたものについては聖職者が独自に決める文言で行う場合もあります。

通常、新郎とベストマンはセレモニー開始時刻の15分前に到着します。彼らは教会の横、または裏